

ニュース記事に対する感情応答モデルの研究

研究背景

文書を用いた感情推定の分野では感情語に関する辞書を用いた手法や、word2vecのように分散表現を用いた手法などが利用されている。これらの手法について、その多くがユーザー毎の傾向を考慮に入れられないといった問題がある。

研究内容

- 文書とユーザーが持つ潜在特徴の組み合わせを用いた、ユーザー毎に異なる感情応答モデルの作成
- 現在はトピックモデルの拡張モデルを用いて、文書の潜在特徴としてトピックの分布、ユーザーの潜在特徴として記事に対するユーザーの評価を利用している
- 今後の課題として、ユーザーの記事評価数のばらつきに対するモデルの改良などが挙げられる